作成日：2011/01/13
改訂日：2026/05/19

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名　　：スティンミルク S-200
会社名　　：クリーンケミカル株式会社
住所　　：大阪府高槻市成合南の町 4-1
担当部門　　：品質・薬剤管理課
電話番号　：072-668-7364
FAX 番号　：072-668-7369
技術部門　　：技術開発部
電話番号　：072-634-6470
FAX 番号　：072-636-6591

推奨用途　　：業務用潤滑防錆剤
使用上の制限　：推奨用途に限定する

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類
健康に対する有害性
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 1
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 3（気道刺激性）
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 3（麻酔作用）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分 1（肝臓、呼吸器）
環境に対する有害性
水生環境有害性 短期(急性)：区分 3
水生環境有害性 長期(慢性)：区分 3
GHS ラベル要素
絵表示



注意喚起語：危険
危険有害性情報
H318 重篤な眼の損傷
H335 呼吸器への刺激のおそれ
H336 眠気又はめまいのおそれ
H372 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害
H402 水生生物に有害
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害
注意書き
安全対策
P273 環境への放出を避けること。
P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
P264 取扱い後は手をよく洗うこと。
P280 保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。
P264 + P265 取扱い後は手をよく洗うこと。眼には触らないこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
応急措置
P317 医療処置を受けること。
P319 気分が悪い時は、医療処置を受けること。
P304 + P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P305 + P354 + P338 眼に入った場合：すぐに水で数分間洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
保管
P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P405 施錠して保管すること。
廃棄
P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物

化学名又は一般名　　： ポリグリセリン脂肪酸エステル、ソルビタン脂肪酸エステル、水

成分名	濃度 (wt%)	安衛法	化管法	毒劇法
2-メチル-2,4-ペンタンジオール	31	表示・通知物質	非該当	非該当
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	31	表示・通知物質	第１種指定化学物質	非該当
アルコール(C=12-15)エトキシ化物	2.2	表示・通知物質 皮膚等障害化学物質	第１種指定化学物質	非該当

4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の場所に移し、うがいをし、安静・保温に努める。異常を感じるならば医師の処置を受ける。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で洗い流す。異常を感じるならば医師の処置を受ける。

眼に入った場合

こすらずに直ちに流水で 15 分間以上洗眼(眼球とまぶたの隅々までよく洗う)し、医師の処置を受ける。

コンタクトレンズを着用しており、容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。

飲み込んだ場合

口の中を水で洗い、水又は牛乳を飲む。無理に吐かせない。直ちに医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合、霧状水、粉末、二酸化炭素、砂などを用いる消火剤は使用できる。

使ってはならない消火剤

棒状注水

火災時の特有の危険有害性

火災時には有毒ガス(一酸化炭素等)が発生するおそれがあるので、消火の際には煙の吸入を避ける。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

燃焼ガス中には一酸化炭素、窒素酸化物等の有毒ガスが含まれているので消火の際には煙の吸入を避ける。

危険でなければ火災区域から容器を移動させる。関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業従事者は適切な保護具を着用し、煙等を吸い込まないように風上から作業する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

適切な保護具を着用する。関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項

漏出された製品が河川等に排出され、環境に影響を及ぼさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩した液は出来るだけ回収し、残りはウエス、ぼろ布等に吸収させて焼却する。

回収できない液は、多量の水で充分に希釈して洗い流す。

この際、火花を発生しない安全な工具を使用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

適切な保護具を着用する。換気の良い所で取扱う。

機械類は防爆構造の物を用い、静電気対策を行う。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。眼に入らないようにする。

ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。

安全取扱注意事項

必要な個人用保護具を使用する。

転倒させ、落下させ、衝撃を加え又は引きずる等の乱暴な取り扱いをしない。

接触回避
強酸、強酸化性化合物
衛生対策
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
保管
安全な保管条件
高温・直射日光を避けた涼しい所(可能ならば冷所)に密栓して保管する。
炎、火花又は高温体との接触、水濡れを避ける。
子供の手の届かない場所に保管する。
避けるべき保管条件
日光、熱
安全な容器包装材料
データなし
使用上の注意
ステンレス(SUS304,316)以外の金属器具は変化をきたす場合があるので、予め試験をしてから使用する。
体内埋め込み器具(インプラント等)や薬液投与を目的とした医療器具(注射筒、注射針、薬盃、チューブ等)には使用を控える。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等
管理濃度及び濃度基準値
(2-メチル-2,4-ペンタンジオール)　濃度基準値 TWA: 120mg/m3
(ジエチレングリコールモノブチルエーテル)　濃度基準値 TWA: 60mg/m3
職業ばく露限界値
(2-メチル-2,4-ペンタンジオール) ACGIH TWA: 25ppm(V); STEL: 50ppm(V); STEL: 10mg/m3(I, H) (眼及び上気道刺激)
(ジエチレングリコールモノブチルエーテル) ACGIH TWA: 10ppm(IFV) (血液学的、肝臓及び腎臓影響)
ばく露防止
設備対策
室内で取扱う場合、必要に応じて適切な排気装置を設ける。
取扱い場所の近くに、手洗・洗眼・身体洗浄のための設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
保護具
保護具は、実際の使用方法や使用環境を考慮し、保護具メーカーの提供情報や厚労省が公表している耐透過性能一覧表を確認して選定すること。

呼吸器の保護具	保護マスクを着用する。(ミストが発生する場合)
手の保護具	不浸透性の保護手袋等を着用する。
眼及び顔面の保護具	不浸透性の保護眼鏡/顔面保護具を着用する
皮膚及び身体の保護具	必要に応じて不浸透性の保護長靴、保護服、ゴム前掛を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 淡黄色透明
pH	: 9.0 (1%溶液)(代表値)
密度及び/又は相対密度(比重)	: 0.98 (25℃)(代表値)
臭い	: 僅かな臭い
融点/凝固点	: データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: データなし
引火点	: 引火点は認められない。
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
動粘性率	: データなし
溶解度	: 水、湯に相溶する。
蒸気圧	: データなし
相対ガス密度	: データなし
その他	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性　　データなし
化学的安定性
通常の保管条件/取扱い条件では安定である。
高濃度の重金属塩と錯化合物を形成する。
煮沸すると浮遊物が発生するので避ける。
危険有害反応可能性
データなし
避けるべき条件
日光、熱
混触危険物質
強酸、強酸化剤
危険有害な分解生成物
焼却した場合、有害な一酸化炭素、二酸化炭素等の発生の可能性がある。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報
急性毒性
急性毒性（経口）
LD_{50} 11.2g/kg（経口-マウス）
LD_{50} > 2000mg/kg（経口-ラット）
LD_{50} > 2000mg/kg（経皮-ラビット）
(2-メチル-2,4-ペンタンジオール)　ラット LD50: 3680 mg/kg
(ジエチレングリコールモノブチルエーテル)　雌ラット LD50: 5080 mg/kg
(アルコール(C=12-15)エトキシ化物)　ラット LD50: 5000 - 10000 mg/kg
急性毒性（経皮）
(2-メチル-2,4-ペンタンジオール)　ラット LD50: > 2000 mg/kg (OECD TG 402, GLP)
(ジエチレングリコールモノブチルエーテル)　ウサギ LD50: 2764 mg/kg
(アルコール(C=12-15)エトキシ化物)　ラット LD50: > 2000 mg/kg
急性毒性（吸入）
有用な情報なし
局所効果
皮膚腐食性/刺激性
皮膚刺激反応なし。(ウサギ)(OECD 化学物質毒性試験指針に基づく皮膚一次刺激性試験)
(アルコール(C=12-15)エトキシ化物)　区分 1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
原液は角膜の混濁や結膜の発赤が認められたが、200 倍希釈液において目刺激反応は認められなかった。(ウサギ)(OECD 化学物質毒性試験指針に基づく目刺激性試験)
(2-メチル-2,4-ペンタンジオール)　区分 2A
(ジエチレングリコールモノブチルエーテル)　区分 2A
(アルコール(C=12-15)エトキシ化物)　区分 1
呼吸器感作性又は皮膚感作性
呼吸器感作性
有用な情報なし
皮膚感作性
皮膚感作性　なし(10w/v% -モルモット)
皮内反応性　0.01～0.2w/v%で刺激性はない。(72 時間後-ウサギ)
生殖細胞変異原性
変異原性
突然変異誘起性は認められなかった。(Salmonella typhimurium TA 系)(労働省告示第 77 号(昭和 63 年)に準拠)
発がん性
有用な情報なし
生殖毒性
有用な情報なし
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）
(2-メチル-2,4-ペンタンジオール)　区分 3（気道刺激性), 区分 3（麻酔作用）
(ジエチレングリコールモノブチルエーテル)　区分 3（麻酔作用）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）
(ジエチレングリコールモノブチルエーテル)　区分 1（肝臓、呼吸器）

誤えん有害性
有用な情報なし
発熱性物質
陰性(ウサギ)（第 14 改正日本薬局方 一般試験法に準拠）
溶血性
0.01w/v%以下で溶血性を示さない。（ウサギ脱繊維血）
コロニー形成阻害性
IC50 0.1～0.2mg/mL（ZDBC(標準物質)1.3～1.4μg/mL）
その他毒性
有用な情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性
水生環境有害性　水生生物に有害
長期継続的影響によって水生生物に有害
水生環境有害性 短期(急性)

(2-メチル-2,4-ペンタンジオール)	魚類（ヒメダカ）96 時間 LC50: > 100 mg/L
(ジエチレングリコールモノブチルエーテル)	藻類（セネデスムス）96 時間 EC50: > 100 mg/L
	甲殻類（オオミジンコ）48 時間 EC50: > 100 mg/L
	魚類（ブルーギル）96 時間 LC50: 1300 mg/L
(アルコール(C=12-15)エトキシ化物)	藻類（ムレミカヅキモ）96 時間 EC50: 0.7 mg/L

水生環境有害性 長期(慢性)
有用な情報なし

残留性・分解性

BOD(0.5%溶液)	3400mg/L
COD(0.5%溶液)	2500mg/L
SS(0.5%溶液)	5mg/L 以下
n-ヘキサン抽出物(0.5%)	140mg/L
全リン酸含有量(0.5%溶液)	0.5mg/L 以下
全窒素含有量	0.32%
重金属（Pb として）	検出下限以下（1ppm 以下）
(アルコール(C=12-15)エトキシ化物)	急速分解性なし（BIOWIN）（出典: NITE）

生物蓄積性

(2-メチル-2,4-ペンタンジオール)	log Pow: 0.58（出典: ICSC, 2003）
(ジエチレングリコールモノブチルエーテル)	log Pow: 0.3（出典: ICSC, 2004）

土壌中の移動性	有用な情報なし
オゾン層への有害性	有用な情報なし
他の有害影響	有用な情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。
使用液(希釈液等)の排出の際は大量の水と共に廃棄する。
大量の場合は廃棄物処理業者に廃棄依頼する。
汚染容器及び包装
空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

輸送の特定の安全対策及び条件
輸送に関しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実に行う。
強酸又は強酸化剤との混載を避ける。
環境有害性
海洋汚染物質（該当/非該当）：非該当
環境有害性物質/混合物（該当/非該当）：非該当
国際規制
国連番号、国連分類　該当しない

作成日：2011/01/13
改訂日：2026/05/19

15. 適用法令

労働安全衛生法 ： 名称表示危険/有害物
2-メチル-2,4-ペンタンジオール、ジエチレングリコールモノブチルエーテル
アルコール(C=12-15)エトキシ化物
名称通知危険/有害物
2-メチル-2,4-ペンタンジオール、ジエチレングリコールモノブチルエーテル
アルコール(C=12-15)エトキシ化物
皮膚等障害化学物質
アルコール(C=12-15)エトキシ化物

毒物及び劇物取締法 ： 非該当

化学物質排出把握管理促進法 ： 第１種指定化学物質 アルコール(C=12-15)エトキシ化物
ジエチレングリコールモノブチルエーテル

消防法 ： 非該当

船舶安全法 ： 非該当

航空法 ： 非該当

16. その他の情報

参考文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 23rd edit., 2023 UN
2024 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)
2026 TLVs and BEIs. (ACGIH)
http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php
JIS Z 7252 : 2025
JIS Z 7253 : 2025
Supplier's data/information

責任の限定について

記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データなどに基づいて作成しておりますが、必ずしも十分な情報ではない可能性があり、新しい知見によって改訂される事があります。また、通常の取扱いを対象としたものですが、特別な取扱いをする場合には新たな用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。
本データシートの目的は当該製品を安全に取扱って頂くため情報を提供するものです。法的な要求事項を除き、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません。また、ここに記載されたデータは製品仕様とは異なり、情報の正確さ、安全性について何ら保証するものではありません。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE-CHRIP)(令和６年度 (2024年度) 公表分まで))です。